

学校名 三郷市立早稲田小学校
所在地 三郷市三郷3-2-1
電話 048-952-4151

1 本校の概要

創立138年目を迎え、歴史と伝統があり家庭や地域の期待も高い。JR三郷駅から徒歩5分に位置し、マンション等の集合住宅から通学する児童が7割を超えている。

「学び合い・認め合い・高め合い 笑顔あふれ夢を育む学校」を目指す学校像とし、早寝・早起き・朝ごはん・朝運動、読書活動、家庭学習、あいさつ等を重点として取り組んでいる。児童数403名、学級数15（特別支援学級2を含む）で、明るく活発な児童が多い。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ア 読書に親しむ態度や読書習慣に対する取組
- イ 学校司書を活用した取組
- ウ 家庭や地域との連携
- エ 読書環境整備の工夫

(2) 実践の概要

昨年度は、「子供の読書活動優秀実践校」文部科学大臣表彰を受賞。特色ある学校づくりのテーマを「学校図書館の3つのセンター的機能を活かし、豊かな心と自ら学ぶ力を育む」とし、学校図書館を活用して児童の読書活動を推進している。



- ア 読書に親しむ態度や読書習慣に対する取組
 - ・ 全校でビブリオバトルを実施している。本の魅力を伝え合うことで、児童同士の交流も活性化。チャンプ本は図書館に掲示し、多くの児童が足を運べるよう工夫している。
 - ・ 11月の読書月間中、読書標語を募集し、優秀な作品は正門脇に掲示している。
 - ・ 担任シャッフル読み聞かせや、おすすめの本総選挙など、児童が本に親しめるイベントを継続して行っている。



イ 学校司書を活用した取組

- ・ 授業の単元に合わせてパスファインダーを作

成し、調べ学習での資料探しを効率のよい的確なものとした。ウェブサイトも載せることにより、図書とタブレットを使い分け、必要な情報を選びながら学習を進めることができる。

- ・ 年間指導計画に学校図書館の利用を位置づけ、ブックトークや調べ学習等で計画的に活用している。授業内ではレファレンスを積極的に利用する児童が増えた。（昨年度689件の利用）



ウ 家庭や地域との連携

- ・ 保護者や地域のボランティアの方が、朝読書の時間に読み聞かせを行っている。
- ・ 月に1度ハートフルデーを設け、親子で同じ物語を読み、感想を交流している。長期の休みは、全国家読ゆうびんコンクールに全校で取り組み、本を通して家族の絆を深めている。

エ 読書環境整備の工夫

- ・ 委員会活動では児童が季節に応じた図書コーナーを作り、本を展示している。
- ・ 三郷市「おすすめの本20冊」や「言葉の力」コーナーを設置し、好きなジャンルに偏ることなく、良書に触れる機会を増やすことにつながっている。
- ・ 全校児童のおすすめの本をカードに書き、学校図書館前の廊下に掲示している。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 図書館を学習センター機能や情報センター機能として計画的に利用し、レファレンスやパスファインダーを活用したことで、児童の学習意欲が向上した。

(2) 課題

- ・ 読書量に個人差があるため、本に親しめるイベントの充実や、読書の質を高める必要がある。